

5年—Unit 5 単元名 She can run fast. He can jump high. できること

1. 単元目標

- ・自分や第三者について、できることやできないことを聞いたり言ったりすることができる。また、文字には音があることに気付く。(知識及び技能)
- ・自分や第三者について、できることやできないことを、考えや気持ちも含めて伝え合う。(思考力、判断力、表現力等)
- ・他者に配慮しながら、自分や第三者についてできることやできないことなどを紹介し合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)

2. 言語材料

- Can you (sing well)? Yes, I can. / No, I can't. [I / You / He / She] [can / can't] (sing well).
 - 動作 (play [the recorder / the piano], ride a [bicycle / unicycle], swim, skate, ski, cook, dance, run fast, jump high, sing well), can, can't, he, she, Mr., Ms., net, omelet
- [既出] スポーツ, 動作, 日課, not

3. 関連する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	イ ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取ることができるようにする。
話すこと (発表)	ア 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。
書くこと	ア 大文字、小文字を活字体で書くことができるようにする。また、語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができるようにする。

4. 単元計画 (8時間)

時	目標 (◆) と主な活動 (【】, ○) 【】 = 誌面化されている活動	◎評価の観点<方法>
1	<p>◆動作を表す語や「できる」「できない」という表現が分かる。</p> <p>○Small Talk : 先生のできること・できないこと 【Let's Watch and Think 1】 p.36 ・映像資料の映像なしに音声のみを聞いて、その人物が誰かを推測する。 【Let's Play 1】 p.34, 35 ・指導者の話を聞いて、誌面のどの動物かを推測して答える。</p> <p>【Let's Chant】 Can you sing well? (オプション : I can run. I can swim.) p.35 【Jingle】 Animals Jingle p.39 (p.77)</p>	◎自分ができると、できないことを表す表現を聞いたり言ったりしている。<行動観察・振り返りカード点検>
2	<p>◆動作を表す語や「できる」「できない」という表現を聞いたり言ったりできる。</p> <p>【Let's Chant】 Can you sing well? (オプション : I can run. I can swim.) p.35 【Let's Listen 1】 p.36 ・音声を聞いてどの動物かを考えて、イラストの下に番号を記入する。</p> <p>【Let's Play 2】 ポインティング・ゲーム p.37 ○Let's Talk ○キーフレーズ・ゲーム ・I can ~./I can't ~. を使って行う。 【Jingle】 Animals Jingle p.39 (p.77) ○Sounds and Letters (5×5ビンゴ)</p>	◎できる、できないという表現を聞いて、番号を記入している。<行動観察・記述分析・振り返りカード点検> ◎自分や相手ができることを聞いたり言ったりしている。<行動観察・振り返りカード点検>

3	<p>◆できることやできないことを含む短い話を聞いて、具体的な情報を聞き取ったり、できるかどうかを尋ねたり答えたりすることができる。</p>	
	<p>○Small Talk : 好きなスポーツや趣味 【Activity 1】 p.37 ・指導者の質問に答えたり、指導者と一緒に代表児童に尋ねたりする。 ・ペアでできることやできないことを予想して尋ね合う。 【Let's Listen 2】 Who am I? p.36 ・音声を聞いて、イラストにある動物の内どの動物のことを考える。</p> <p>○Destiny・ゲーム 【Let's Chant】 Can you sing well? (オプション : Can you swim?) p.35 【Jingle】 Animals Jingle p.39 (p.77) ○Sounds and Letters</p>	<p>◎できるかどうかを尋ねたり答えたりしている。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉 ◎できることやできないことを含む短い話を聞いて、具体的な情報を聞き取り番号を記入している。〈発表観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p>
4	<p>◆できるかどうかを尋ねたり答えたりするとともに、短い話を聞いて具体的な情報を聞き取る。</p> <p>【Let's Chant】 Can you sing well? (オプション : Can you swim?) p.35 【Let's Watch and Think 2】 前半のみ p.38 ・映像を視聴して、誌面に○や△を書いたり、指導者の質問に答えたりする。</p> <p>【Activity 2】 p.37 ・友達にあることについてできるかどうかを尋ね、できる場合はイラストの下に名前を書いてもらう。 【Activity 3】 p.39 ・グループごとにインタビューする先生を決め、準備をする。 【Jingle】 Animals Jingle p.39 (p.77) ○Sounds and Letters</p>	<p>◎できることやできないことを含む短い話を聞いて、具体的な情報を聞き取り誌面に記入している。〈行動観察・記述観察・振り返りカード点検〉 ◎できかどうかを尋ねたり答えたりしている。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p>
5	<p>◆第3者についてできることやできないことを聞いて分かる。</p> <p>○Small Talk : 好きな有名人 【Let's Watch and Think 2】 後半 p.38 ・Let's Watch and Think 2の後半を視聴し、第3者の紹介の仕方を知る。</p> <p>○Who is he? Who is she? ・指導者による He/ She を使った人物紹介を聞き、それが誰かを当てる。</p> <p>【Let's Chant】 Can you sing well? (オプション : He can run fast. She can sing well.) p.35 ○Sounds and Letters (ひそひそビンゴゲーム)</p>	<p>◎第3者について、できることやできないことを聞き取っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>
6	<p>◆第3者についてできることやできないことを尋ねたり答えたりできる。</p> <p>【Let's Chant】 Can you sing well? (オプション : He can run fast. She can sing well.) p.35 【Let's Listen 3】 p.40 ・音声を聞いて、どの人物かを考え、人物の写真の下に番号を記入する。</p> <p>○Who is he? Who is she? (p.40 Let's Listen 3 を使って) ・グループで、Let's Listen 3の登場人物についてクイズを出したり答えたりする。 ・代表児童が出すヒントを聞いて、それが誰かを当てる。</p> <p>【Activity 3】 p.39 ・インタビューする先生ができることやできないことを予想する。 ・誌面に He/ She を書き写す。</p> <p>○Let's Read and Write ・例を参考に、自分のできることやできないことを書く。 ○Sounds and Letters (ワードサーチ)</p>	<p>◎第3者についてできることやできないことを尋ねたり答えたりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>

7	<p>◆ある人物について、できることやできないことを含めて紹介する。</p> <p>【Let's Chant】 Can you sing well? (オプション: He can run fast. She can sing well.) p.35</p> <p>○Small Talk : Who is this? Quiz</p> <p>【Activity 4】 p.39</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インタビューの結果を整理し、スピーチの準備をする。 <p>○Let's Read and Write</p> <ul style="list-style-type: none"> ・例を参考に、紹介する先生のできることやできないことを書く。 <p>【Activity 5】 p.40</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループでペアになり、インタビュー結果をもとに先生ができることやできないことを、自分のことも含めて伝え合う。 ・アドバイスし合い、改善をして次時のスピーチの準備をする。 <p>【Jingle】 Animals Jingle p.39 (p.77)</p> <p>【STORY TIME】 ① p.41</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせを聞いて、話の概要を理解する。 	<p>◎自分やある人物について、できることやできないことを、考えや気持ちも含めて伝えている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>
8	<p>◆他者に配慮しながら、ある人物についてできることやできないことを、自分の考えも含めて紹介しようとする。</p> <p>◆アルファベットの文字の読み方には、名称のほかに音があることに気付く。</p> <p>【Let's Chant】 Can you sing well? (オプション: He can run fast. She can sing well.) p.35</p> <p>【Activity 5】 p.40</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インタビュー結果をもとに、先生ができることやできないことを紹介する。 <p>○Let's Read and Write</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声について読む(発音する)。 ・例文を参考に、ワークシートに書く。 <p>【STORY TIME】 ② p.41</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教材を視聴して、音声について読む。 <p>○Sounds and Letters</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アルファベットを見て、その音とその音で始まる動物を言う。 	<p>◎他者に配慮しながら、ある人物についてできることやできないことを、自分の考えも含めて紹介している。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p> <p>◎アルファベットの文字の読み方には、名称のほかに音があることに気づき、□に小文字を書いている。〈行動観察・記述分析・振り返りカード分析〉</p>

◎文字と音については単元を通して適宜評価する。アルファベットの文字の読み方には、名称のほかに音があることに気付いている。〈行動観察・振り返りカード分析〉

5年 Unit 5-Lesson 1 単元名 She can run fast. He can jump high. できること 1/8時間
目 標 動作を表す語や「できる」「できない」という表現が分かる。
準 備 教師用カード (動作), 児童用テキスト, 児童用カード(動作), デジタル教材, 振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
10分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 <p>○Small Talk : 先生のできること・できないこと</p> <ul style="list-style-type: none"> 指導者の話を聞いて、おおよその内容を推測する。 指導者の質問に答えたり、他の児童が答えるのを聞いたりして、その意味を推測する。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。 指導者ができることやできないことを、ジェスチャーを付けたり実際にやってみせたりして紹介する。 黒板に「にこにこ顔」と「悲しい顔」を描く。 教師用カードを手に持ち、できることやできないことを紹介し、できることは「にこにこ顔」の下に、できないことは「悲しい顔」の下に貼ることで、児童が類推しながら can や can't の意味を捉えられるようにする。 できること、できないことを動作やジェスチャーで表現しながら、児童数名に Can you ~? で尋ね、児童の答えに応じて、I see, you can / can't ~ well. と返す。児童の答えに応じて、動作の絵カードを「にこにこ顔」や「悲しい顔」の下に移動する。 その際、学級でどの児童もが知っていること、例えば、走るのが速い、野球 (サッカー、バドミントン、バレーボールなど) がうまい、ピアノが弾けるなどを取りあげると、児童はより理解しやすい。 	教師用カード (動作)
<p>Small Talk の例</p> <p>T : Look! I can play the recorder very well. Can you play the recorder well? I can play badminton well. Can you play badminton well? I can play the recorder very well and I can play badminton well, but I can't swim. Can you swim?</p>			
	<ul style="list-style-type: none"> 本単元及び本時のねらいと流れを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 本単元及び本時のねらいと流れを児童と確認する。 	
10分	<p>【Let's Watch and Think 1】 p.36</p> <ul style="list-style-type: none"> 指導者とやり取りをしながら、No.2 と No.3 の映像資料を視聴し、どちらが石川選手か長友選手かを考え、誌面に番号を記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> まず誌面あるいは、デジタル教材の映像資料にある3人の人物(石川選手、山中教授、長友選手)が誰かを児童に尋ね、確認する。石川選手と長友選手について児童に問いかけ、映像資料に出てくる語彙や表現を事前に聞かせ、映像資料の英語を類推しやすくする。 映像資料の No.2, 3 の映像から視聴させ、それがそれぞれ誰のことかを考えさせる。 	デジタル教材 児童用テキスト
<p>T: Who are they? Who is this? That's right. This is Ishikawa Kasumi. Ishikawa Kasumi can play ...? Soccer? Volleyball? Table tennis? What sport? T: Who is this? That's right. This is Nagatomo Yuto. Nagatomo Yuto can play ...? Soccer? Volleyball? Table tennis? What sport? Let's watch the video, No.2 and No.3.</p>			
	<ul style="list-style-type: none"> スポーツ以外にどのようなことができるかを聞き取り、指導者とやり取りをしながら確認をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童の実態に応じて映像資料を複数回視聴させるとよい。視聴後は、スポーツ以外にどのようなことができるかをやり取りしながら児童から引き出す。 Ishikawa Kasumi can play ...? That's right. Ishikawa Kasumi can play table tennis and? Nagatomo Yuto can play ...? That's right. 	

	<p>・ No.1 を視聴し、山中教授ができることを聞き取る。指導者とやり取りをしながら、山中教授ができることを確認する。誌面の()に番号を記入する。</p>	<p>Nagatomo Yuto can play soccer and? ・ No.1 を視聴する前に、山中教授がどのようなことができるかを問いかける。予想を立てさせようえて、映像資料を視聴させることで、予想が当たっているかを確かめるために映像を視聴するという目的をもたせる。 Who is this? That's right. This is Doctor Yamataka Shinya. Doctor Yamataka can ...? Play soccer? Play table tennis? Let's watch the video.</p>	
<p>No.1 (山中伸弥教授) : I am a medical doctor and a researcher. I got the Nobel Prize in 2012. I can speak English.</p>			
10分	<p>【Let's Play 1】 p.34, 35 ・ 指導者の紹介を聞いて、それがどの動物かを当てる。 ・ 映像資料の音声を聞いて、それぞれの動物や人物ができることを確認する。</p>	<p>・ 映像資料で取り上げられていることについて、数名の児童に Can you ~? で尋ね、 Yes, I can. / No, I can't. の答え方を理解させるようにする。</p> <p>・ 活動に入る前に、誌面の動物を児童と確認する。動物当てクイズをすることを告げ、指導者は誌面の動物のどれかになりきって、その動物ができることを紹介し、児童にどの動物かを尋ねる。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> Who am I? I can't fly. I can't sing, but I can run very fast. Who am I? (I'm a cheetah.) Who am I? I can't fly. I can't run fast, but I can swim very fast. Who am? (I'm a penguin.) </p> <p>・ 児童が慣れてきたら、I'm a mouse. I can ...? Run fast? Jump high? Swim? などと児童に発話を促す。 ◎自分ができるところ、できないことを表す表現を聞いたり言ったりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>	デジタル教材 児童用テキスト
5分	<p>【Let's Chant】 Can you sing well? (オプション) p.35 ・ 音声に合わせてチャンツを言う。</p>	<p>・ チャンツ (I can run. I can swim.) を一緒に言う。児童の実態に応じて、スピードを選択するとよい。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> (Option) <u>I can run. I can swim.</u> Who am I? I'm a rabbit. I can jump. I can't swim. Who am I? I'm a dog. I can run. I can swim. I can jump. Who am I? It's me! </p>	デジタル教材
5分	<p>【Jingle】 Animals Jingle p.39 (p.77) ・ 音声を聞きながら、音に注意し、文字の読み方(名称)をリズムに合わせて言う。 ・ その他の部分で言えるところも一緒に言う。</p>	<p>・ Animals Jingle を、音声に合わせて児童と一緒に言う。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> デジタル教材：「教材どうぐばこ」→「素材種類別」→「チャンツ・ソング・ジングル」→「リスト」→「ジングル」→「Animals Jingle」 </p>	デジタル教材
5分	<p>・ 本時の活動を振り返る。振り返りカードに記入する。 ・ 挨拶をする。</p>	<p>・ 本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・ 挨拶をする。</p>	振り返りカード

5年 Unit 5—Lesson 2 単元名 She can run fast. He can jump high. できること 2/8時間

目 標 動作を表す語や「できる」「できない」という表現を聞いたり言ったりできる。

準 備 教師用カード(動作), 児童用テキスト, 児童用カード(動作), ワークシート (Unit 5-6: 5×5 Bingo), デジタル教材, 振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
5分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 <p>【Let's Chant】 Can you sing well? (オプション) p.35</p> <ul style="list-style-type: none"> 音声に合わせてチャンツを言う。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。 本時のめあてと流れを児童と確認する。 チャンツ (I can run. I can swim.) を児童と言う。児童の実態に合わせて、スピードを選ぶとよい。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>(Option) <u>I can run. I can swim.</u> Who am I? I'm a rabbit. I can jump. I can't swim. Who am I? I'm a dog. I can run. I can swim. I can jump. Who am I? It's me!</p> </div>	デジタル教材
10分	<p>【Let's Listen 1】 p.36</p> <ul style="list-style-type: none"> 音声を聞いてどの動物か、男の子かを考えて、イラストの下に番号を記入する。 聞いた内容に関連して、指導者の質問に答える。 	<ul style="list-style-type: none"> デジタル教材で音声を聞かせる。児童の実態に応じて、No. 2, 3 から始める方が分かりやすい場合もある。1問目を児童と一緒に考えることで、どの動物かを考えて、誌面上の動物イラストの下に番号を記入すればよいことを理解させるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>No.1 I can sing, and I can swim. Who am I? No.2 I can sing, but I can't swim. Who am I? No.3 I can swim, but I can't sing. Who am I?</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 答え合わせの際には、単に番号を確認するだけではなく、音声が続いて表現を繰り返し、言い慣れさせるようにする。 聞いたことを受けて、児童に Can you sing / swim well? などと尋ね、やり取りをする。 <p>◎できる、できないという表現を聞いて、番号を記入している。<行動観察・記述分析・振り返りカード点検></p>	デジタル教材 児童用テキスト
10分	<p>【Let's Play 2】 ポインティング・ゲーム p.37</p> <ul style="list-style-type: none"> 指導者が言う語句や文を聞いて、自身のテキスト誌面にある絵をさし示しながら、指導者の後について繰り返し言う。 慣れてきたら、ペアで1冊のテキスト誌面の絵を指さす。 <p>○Let's Talk</p> <ul style="list-style-type: none"> 15種類のイラストの中から、自分ができるところを選んでペアの相手に伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> 誌面にある15種類の動作を表す語句を使って、ポインティング・ゲームの例を示し、進め方を理解させる。 指導者は、最初は、動作を表す語句のみを言い、児童が慣れてきたら、I can / can't ~.で言う。 <ul style="list-style-type: none"> ペア同士で、自分ができるところを伝え合わせる。 <p>◎自分や相手ができることを聞いたり言ったりしている。<行動観察・振り返りカード点検></p>	デジタル教材 児童用テキスト 教師用カード (動作)
5分	<p>○キーフレーズ・ゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ペアで活動する。 I / You can ~. I / You can't ~. の 	<ul style="list-style-type: none"> 前活動で聞いたり言ったりした動作を表す語句を使って、キーフレーズ・ゲームの進め方の例を示す。 	教師用カード (動作)

	表現を使って行う。		
	<p>キーフレーズ・ゲームの進め方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアで、2人の机の間に消しゴムを1つ置く。 ・キーフレーズを決める。(例) ride a unicycle ・指導者に続いて言う。 <p>T : I can speak English. S : You can speak English. (キーフレーズ以外の時は指導者に続いて言う。) T : I can't ride a unicycle. S : 消しゴムを取る。(キーフレーズに気付いて素早く消しゴムを取った方が勝ち。) S : You can't ride a unicycle. (指導者の合図で続いて言う。)</p>		
10分	<p>【 Jingle 】 Animals Jingle p.39 (p.77)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声を聞きながら、音に注意し、文字の読み方(名称)をリズムに合わせて言う。 ・読み方以外の部分で言えるところも一緒に言う。 <p>○Sounds and Letters</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各自でワークシートの4線に小文字を書いて、ビンゴシートを作る。 ・シートが完成したら、ペアで自分のシートに書いた小文字を見せその読み方(名称)を言い合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音声に合わせて児童と一緒に言う。 ・2, 3回繰り返す。 <p>デジタル教材：「教材どうぐばこ」→「素材種別」→「チャンツ・ソング・ジングル」→「リスト」→「ジングル」→「Animals Jingle」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再度 Animals Jingle で文字の名称を聞いて、小文字をビンゴシートの25マスに書かせる。(x以外の25文字) 	<p>デジタル教材</p> <p>デジタル教材 ワークシート (Unit 5-6 : 5×5 Bingo)</p>
5分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動を振り返る。振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。 	振り返りカード

Unit 5—Lesson 3 単元名	She can run fast. He can jump high.	できること	3/8時間
目 標	できることやできないことを含む短い話を聞いて、具体的な情報を聞き取ったり、できるかどうかを尋ねたり答えたりすることができる。		
準 備	好きなスポーツや趣味に関する具体物 (Small Talk 用), 教師用カード (動作), 児童用テキスト, 児童用カード (動作), ワークシート (Unit 5-7), デジタル教材, 振り返りカード		

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
5分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 <p>OSmall Talk : 好きなスポーツや趣味</p> <ul style="list-style-type: none"> 指導者の話を、反応を示したり、質問について考えたり答えたりしながら聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。 好きなスポーツや趣味について話す。 一方的に話すのではなく、児童を会話に巻き込みながら話すようにする。 	好きなスポーツや趣味に関する具体物
<p>Small Talk の例</p> <p>T : Look! Look at this. What's this? S : A racket?</p> <p>T : Yes, that's right. It's a racket. It's a badminton racket. This is my badminton racket. I can play badminton very well. (ラケットを振って見せる) I can play badminton very well. Can you play badminton well? Do you like badminton? I love badminton very much. It's a lot of fun. I'm a good badminton player. I can play it very well. Can you play badminton? Can you play soccer well? (ボールを蹴るジェスチャーをしながら) Can you play the piano well? (ピアノを弾くジェスチャーをしながら) Can you dance well? (ダンスのジェスチャーをしながら) Can you do <i>kendō</i>? (竹刀を振るジェスチャーをしながら) I can play badminton well.</p>			
15分	<p>[Activity] 1 p.37</p> <ul style="list-style-type: none"> 指導者の質問に答えたり、指導者と一緒に代表児童に尋ねたりする。 <ul style="list-style-type: none"> ペアになり、相手ができるかできないかを予想して、誌面動作イラストに○, △を記入する。その後尋ね合い、自分の予想が当たっているか確認する。 反応を示しながら聞くようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> Activity をする前に, Small Talk の流れで以下の活動を行う。指導者は、動作の絵カードを見せながら、数名の児童に Can you ~? と尋ねる。その際, I think Tanaka <i>san</i> can play baseball. Question, Tanaka <i>san</i>, can you play baseball? と、先に予想してから尋ねるようにし, Activity につなげる。 数名の児童にこれを繰り返した後、他の児童にも代表児童ができるかどうかを予想させたうえで、一緒に代表児童に Can you ~? と尋ねさせる。 この続きで, Activity をペアであることを告げる。 前時の Let's Talk で聞いたことを基に予想して, ○や△を付けるよう指示する。 答えを聞いた際には, You can swim. That's great. 等, 反応を示しながら聞くよう促す。 <p>◎できるかどうかを尋ねたり答えたりしている。</p> <p><行動観察・記述分析・振り返りカード点検></p>	教師用カード (動作) 児童用テキスト
5分	<p>[Let's Listen 2] p.36 (動物編2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 音声聞いて、イラストにある動物の中でどの動物のことかを考えて記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> デジタル教材を視聴して誌面にあるイラストの内どの動物のことかを推測させる。 前時の Let's Listen 1 とは異なり, I can run very fast. など, fast, high, well 等を加えた音声であり, これらの意味を推測しながら聞かせる。 <p>◎できることやできないことを含む短い話を聞いて、具体的な情報を聞き取り番号を記入している。<発表観察・記述分析・振り返りカード点検></p>	デジタル教材 児童用テキスト

	<p>No.1: I can run very fast, but I can't sing well. Who am I? No.2: I can jump long, but I can't swim. Who am I? No.3: I can sing very well, but I can't swim. Who am I? No.4: I can run fast, and I can walk in the water very fast. Who am I?</p>		
5分	<p>○デスティニー・ゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ペアで、児童用カード1セットを使って行う。 <p>デスティニー・ゲームの進め方</p> <ul style="list-style-type: none"> ペアで児童用カード（動作）1セットを均等に分けて持つ。 以下のように、指導者が質問して、その動作の絵カードを持っている児童はYes, ~. で答え、そのカードを自分のものとし、持っていない児童はNo, ~. で答える。 制限時間内に、よりたくさんの絵カードを自分のものにした人が勝ちとなる。 <p>T: Can you jump high? S (jump の絵カードを持っている児童) : Yes, I can. I can jump high. S (jump の絵カードを持っていない児童) : No, I can't. I can't jump high.</p>	<ul style="list-style-type: none"> 進め方の例を示す。 	<p>教師用カード （動作） 児童用カード （動作）</p>
5分	<p>【Let's Chant】 Can you sing well? (オプション) p.35</p> <ul style="list-style-type: none"> 言えるところからチャンツを言う 	<ul style="list-style-type: none"> まずチャンツ (Can you swim?) を聞かせ、言えるところから言わせるようにする。 児童の実態により、スピードを選ぶとよい。 <p>(Option) <u>Can you swim?</u> (うさぎが魚に聞く) Can you jump? (魚) No, I can't. I can't jump, but I can swim. (魚が鳥に聞く) Can you swim? (鳥) No, I can't. I can't swim, but I can sing. (鳥がカンガルーに聞く) Can you sing? (カンガルー) No, I can't. I can't sing, but I can jump.</p>	デジタル教材
8分	<p>【Jingle】 Animals Jingle p.39 (p.77)</p> <ul style="list-style-type: none"> 音声に合わせてジングルを言う。 <p>○Sounds and Letters</p> <ul style="list-style-type: none"> ワークシートの4線の上に、聞こえたアルファベットの小文字7文字を書く。 ペアで自分のシートに書いた小文字を見せその読み方(名称)を言い合う。 	<ul style="list-style-type: none"> デジタル教材で、Animals Jingle を児童と一緒に言う。 <p>デジタル教材: 「教材どうぐばこ」 → 「素材種別」 → 「チャンツ・ソング・ジングル」 → 「リスト」 → 「ジングル」 → 「Animals Jingle」</p> <ul style="list-style-type: none"> ワークシートに聞こえたアルファベットの小文字7文字を自分で選んで書くよう指示する。 	<p>デジタル教材</p> <p>ワークシート (Unit 5-7)</p>
2分	<ul style="list-style-type: none"> 本時の活動を振り返る。振り返りカードに記入する。 挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時のねらいに照らして児童を称賛する。 挨拶をする。 	振り返りカード

5年 Unit 5—Lesson 4 単元名	She can run fast. He can jump high.	できること	4/8 時間
目 標	できるかどうかを尋ねたり答えたりするとともに、短い話を聞いて具体的な情報を聞き取る。		
準 備	教師用カード (動作), 児童用テキスト, ワークシート (Unit 5-7), デジタル教材, 振り返りカード		

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
5分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 【Let's Chant】 Can you sing well? (オプション) p.35 チャンツを言う。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。 チャンツ (Can you swim?) を児童と一緒に言う。 児童の実態に応じて、スピードを選ぶとよい。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>(Option) Can you swim? (うさぎが魚に聞く) Can you jump? (魚) No, I can't. I can't jump, but I can swim. (魚が鳥に聞く) Can you swim? (鳥) No, I can't. I can't swim, but I can sing. (鳥がカンガルーに聞く) Can you sing? (カンガルー) No, I can't. I can't sing, but I can jump.</p> </div>	デジタル教材
7分	<p>【Let's Watch and Think 2】 p.38</p> <ul style="list-style-type: none"> 登場人物ができることできないことについて話している映像資料を視聴し、誌面にできることには○、できないことには△を書く。 再度映像資料を見ながら答えを確認し、指導者と一緒に言ってみる。 	<ul style="list-style-type: none"> デジタル教材の映像資料内容は、会話形式でできることできないことを尋ねたり答えたりしている場面である。人によってできることやできないことが様々であることについて、具体的な情報を聞き取らせる。 長い会話のため、児童の実態に合わせて複数回視聴させたり、途中で止めたりして書かせるとよい。 答え合わせの際には、答えの確認だけでなく、音声に続けて指導者と一緒に言わせるようにする。 	デジタル教材 児童用テキスト
	<p>ジョン : Hi, Christina. クリスティーナ: Hi, John. ジョン : Christina. Are you from America? クリスティーナ: No, I'm not. I'm from the Philippines. How about you, John? Where are you from? ジョン : I'm from Australia. クリスティーナ: I see. What sport do you like, John? ジョン : I like swimming. I can swim fast. How about you, Christina? What can you do? クリスティーナ: Oh, I can ride a unicycle very well. I can cook, too. I can cook curry and rice. Can you cook? ジョン : No, I can't. クリスティーナ: Do you like music? ジョン : Yes, I like music, but I can't play the piano. クリスティーナ: That's OK. I can't sing well, but I like music very much. ジョン : Oh, one more thing. I can play <i>kendama!</i> クリスティーナ: Great! I want to try <i>kendama</i>.</p>		
	<ul style="list-style-type: none"> 指導者の質問に答える。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎できることやできないことを含む短い話を聞いて、具体的な情報を聞き取り誌面に記入している。〈行動観察・記述観察・振り返りカード点検〉 映像資料の内容を受けて、指導者は全体、また複数の児童に Can you swim / cook / play the piano / ride a unicycle / play <i>kendama?</i> と問い、児童とやり取りをする。 	

15分	<p>【Activity 2】 p.37</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教室内を歩いて回り，友達に誌面にあることについてできるかどうかを尋ね，できる場合は，イラスト下に名前を書いてもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進め方の例を示す。その際，相手の回答に反応を返すようにする。 ・インタビューでは， well / fast / high 等も含めた表現で行わせる。 I can swim. / I can swim well. / I can swim fast. の違いを明確にし， 答えを言わせるようにする。 ・途中で一旦活動を止め，前半のインタビューで見つけた児童のよい姿を紹介することで，後半のインタビューの質を高めるようにする。 <p>◎できるかどうかを尋ねたり答えたりしている。</p> <p><行動観察・記述分析・振り返りカード点検></p>	教師用カード (動作)
10分	<p>【Activity 3】 p.39</p> <ul style="list-style-type: none"> ・班ごとにインタビューに行く先生を決め，似顔絵を誌面に描く。先生の名前を書く。 ・それぞれ聞きたいことを決め，聞き方の練習等インタビューの準備をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスの実態に応じて，インタビューに行く先生を相談やくじ引きで決めさせる。班の中で質問事項がかぶらないように，聞きたいことを考えさせ，誰がどんな質問をするのか等インタビューの準備をさせる。 	児童用テキスト
6分	<p>【Jingle】 Animals Jingle p.39 (p.77)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声に合わせてジングルを言う。 <p>○Sounds and Letters</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの4線上に，聞こえたアルファベットの小文字8文字を書く。 ・ペアで自分のシートに書いた小文字を見せその読み方(名称)を言い合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教材で， Animals Jingle を児童と一緒に言う。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> デジタル教材：「教材どうぐばこ」→「素材種別」→「チャンツ・ソング・ジングル」→「リスト」→「ジングル」→「Animals Jingle」 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに，聞こえたアルファベットの小文字のうち，前時に書かなかった8文字を自分で選んで書くよう指示する。 	デジタル教材 前時に7文字書いたワークシート (Unit 5-7)
2分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動を振り返る。振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。 	振り返りカード

Unit 5—Lesson 5 単元名 She can run fast. He can jump high. できること 5/8 時間
目 標 第3者について、できることやできないことを聞いて分かる。
準 備 教師用カード (he/she / キャラクター), 児童用テキスト, 好きな有名人や校内教員など紹介したい人の写真など, ワークシート (Unit 5-6 : 第2時に各自が作成したビンゴシート) , デジタル教材, Animals Jingle 絵カード, 振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
5分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 OSmall Talk : 好きな有名人 指導者の話を、反応を示したり、質問について考えたり答えたりしながら聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。 好きな有名人について話す。 一方的に話すのではなく、児童を会話に巻き込みながら話すようにする。 	好きな有名人の写真など
<p>Small Talk の例</p> <p>Today, I have a picture of someone. (写真を手に児童に話しかける) He is an athlete. Do you know the word “athlete”? (児童の予想される答え : 「アスレチック」「運動選手」) Yes, he is a sport player. Who is he? (いくつか出てくるスポーツ選手名に対して、その名前だけを繰り返し、正解は言わない) Ichiro? Maybe.</p> <p>I give you 3 hints. Hint No. 1. He can jump high. (飛び上がって見せる) Hint No. 2. He can turn very well. (回って見せる) Do you know who he is? Any ideas? (児童に問いかけるが、ここでも正解は言わないで続ける) Hint No. 3. He was in the Olympics in Brazil. Who is he?</p> <p>The answer is ... (写真を見せながら) Uchimura Kohei. I like him very much. He is very cool.</p> <p>○○ <i>san</i>, good job! (途中経過ですすでに当てていた児童を褒める)</p>			
15分	<p>【Let's Watch and Think 2】 p.38</p> <ul style="list-style-type: none"> 前時の Let's Watch and Think 2 で2人の会話を聞いていたさとしが、その情報をまとめながら he/she を使って2人を紹介する映像を含む「通し視聴」を視聴し、分かったことを誌面に記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> 前時の続きで、映像を視聴するが、今回は前回より長めであることを告げる。児童の実態に応じて、繰り返し視聴させるとよい。 映像資料のさとしの話聞いて分かったことを誌面に書くよう指示する。 	デジタル教材 児童用テキスト
		<p>さとし: Hello! My name is Satoshi.</p> <p>My friend, John is from Australia. He can swim fast and he can play <i>kendama</i>. He can't cook. He can't play the piano.</p> <p>My friend, Christina is from the Philippines. She can ride a unicycle. She can cook. She can cook curry and rice. She can't sing well.</p>	
<ul style="list-style-type: none"> 指導者とやり取りをして、答えを確認する。 指導者の話を聞いたり、質問に答えたりして、he, she の使い方を理解するとともに、I, you との違いを理解する。 		<ul style="list-style-type: none"> 書いたことをやり取りしながら確認する。 <p>John is from ...?</p> <p>He can ...? He can't ...?</p> <p>Christina is from ...?</p> <p>She can ...? She can't ...?</p> <ul style="list-style-type: none"> 校内の先生等のできること、できないことについて紹介する。紹介しながら、6名ほどの先生の写真を男性は右側、女性は左側に分けて黒板に貼っていく。 <p>This is Ms. She can ~.</p> <p>This is Mr. He can ~.</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童が男性と女性では言い方が違うことに気付き出している様子を見とって、新たな先生4名程度の写真を見せながら、he か she かを問いかけ、児童に he, she 	校内教員の写真など

		<p>の違いを理解させる。</p> <p>This is Ms. He? She?</p> <p>This is Mr. He? She?</p> <p>・児童が he, she の違いを理解した様子を見とって、今度は児童にできるかどうかを尋ね、I, you, he ,she の違いを理解させるようにする。</p> <p>Can you ~? You can / can't ~.</p>	
<p>※写真を映し出す際には、デジタル教材の「教材どうぐばこ」→「ツール」→「画像読み込み」を活用するとよい。</p>			
7分	<p>○Who is he? Who is she?</p> <p>he / she を使って紹介される校内教員やキャラクターなどについて、それが誰かを予想して答える。</p>	<p>・校内の教員や児童がよく知っているキャラクターなどを複数とりあげ、できること、できないことなどを he / she を使って児童に聞かせる。児童に誰のことかを考え、答えさせる。</p> <p>・答え合わせの際には、再度 he / she を使ってできることできないことを話す。</p> <p>◎第3者について、できることやできないことを聞き取っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>	<p>教師用カード (he / she / キャラクター)</p> <p>校内教員など紹介したい人の写真など</p>
5分	<p>【Let's Chant】 Can you sing well? (オプション) p.35</p> <p>・チャンツを言う。</p>	<p>・デジタル教材で、チャンツ (He can run fast. She can sing well.) を視聴させ、ゆっくりのスピードからを言えるところだけを言わせるようにする。</p>	デジタル教材
<p>(Option) <u>He can run fast. She can sing well.</u></p> <p>This is my friend, Kosei. He can play basketball. He can run fast. He can jump high and he's so cool.</p> <p>This is my teacher, Ms. Tanaka. She can play the piano. She can sing well. She can cook well and she's so nice.</p> <p>I can't run fast, but I can swim. I can't sing well, but I can dance.</p> <p>How about you? What can you do?</p>			
8分	<p>○Sounds and Letters</p> <p>・ひそひそビンゴゲームをする。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">Animals Jingle 絵カード:「教材どうぐばこ」→「ツール」→「絵辞書」→「Word Index We Can! 1」→「Animals Jingle」</p>	<p>・第2時で作成したビンゴシートを使ってビンゴゲームをする。</p> <p>・最後まで大きな声を出さなくてひそひそ声でゲームを進める。5文字に印がついても“Bingo!”とは言わないで最後に縦・横・斜めに印がいくつ揃ったかを数える。</p> <p>・最初は聞こえた動物の最初の音に○, 2回目は×など印を替えて複数回行ってもよい。</p>	<p>ワークシート (Unit 5・6: 第2時に各自が作成したビンゴシート)</p> <p>Animals Jingle 絵カード</p>
<p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">Sounds and Letters (ひそひそビンゴゲーム) の進め方</p> <p>・指導者は、Animals Jingle 絵カードから任意の数 (12~18) のカードを選び、その動物名を言う。児童は、自分のシートにあるその動物名の最初のアルファベットの文字に印をする。</p> <p>・縦、横、斜めに印がついても従来のビンゴのように大声で「ビンゴ!」と言わない。あらかじめ決めていた数の動物名を読み上げたところで、それぞれビンゴがいくつできたかを数える。</p>			
5分	<p>・本時の活動を振り返る。振り返りカードに記入する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	<p>・本時のねらいに照らして児童を称賛する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	振り返りカード

<p>5年 Unit 5—Lesson 6 単元名 She can run fast. He can jump high. できること 6/8 時間</p> <p>目 標 第3者についてできることやできないことを尋ねたり答えたりできる。</p> <p>準 備 児童用テキスト, ワークシート (Unit 5-1, 5-2, 5-4, 5-8) , デジタル教材, 振り返りカード</p>

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
5分	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をする。 <p>【Let's Chant】 Can you sing well? (オプション) p.35</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チャンツを言う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。 ・本時のめあてと流れを児童と共に確認する。 ・デジタル教材で、チャンツ (He can run fast. She can sing well.) を視聴しながら、音声に合わせてチャンツを言う。児童の実態に合わせて、スピードを選ぶとよい。 	デジタル教材
<p>(Option) <u>He can run fast. She can sing well.</u></p> <p>This is my friend, Kosei. He can play basketball. He can run fast. He can jump high and he's so cool.</p> <p>This is my teacher, Ms. Tanaka. She can play the piano. She can sing well. She can cook well and she's so nice.</p> <p>I can't run fast, but I can swim. I can't sing well, but I can dance.</p> <p>How about you? What can you do?</p>			
5分	<p>【Let's Listen 3】 p.40</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声を聞いて、どの人物かを考え、人物のイラストの下に番号を記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物についてできることできないことを説明する音声をデジタル教材で聞かせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>No.1: She can jump high. She can ride a unicycle well. She can't swim well. Who is she?</p> <p>No.2: She can ride a unicycle well. She can cook well. She can't play <i>kendama</i>. Who is she?</p> <p>No.3: She can play badminton well. She can swim fast. She can't cook well. Who is she?</p> </div>	デジタル教材 児童用テキスト
10分	<p>○Who is he? Who is she? p.40</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループで、Let's Listen 3 の登場人物についてクイズを出したり答えたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進め方の例を示す。 	児童用テキスト
<div style="border: 1px dashed black; padding: 10px;"> <p>Who is he? Who is she? の進め方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループで活動する。グループの中の一人が【Let's Listen 3】で聞いた人物の中から1人選ぶ。 ・他の児童が、その人ができることできないことについて順番に尋ねる。 ・その答えから、その人物が誰かを当てる。順に役割を交代して続ける。 <p>A: (人物を1人決める) Who is she? B: Can she swim well?</p> <p>A: No, she can't. She can't swim well. C: Can she jump high?</p> <p>A: Yes, she can. She can jump high. D: Can she ride a unicycle well?</p> <p>A: Yes, she can. She can ride a unicycle well. BCD: She is Saki.</p> <p>A: That's right. She is Saki.</p> </div>			
		◎第3者について、できることやできないことを尋ねたり答えたりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉	
15分	<p>【Activity 3】 p.39</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第4時の続きをする。班ごとにインタビューに行く先生ができることできないことを予想する。誌面に He/She を書き写す。指導者と一緒に画面上の文を読んだり、誌面に 	<ul style="list-style-type: none"> ・インタビューに行く先生について、できることできないことを各自で予想し、誌面に He / She を書き写し、絵カードを置くよう指示する。 ・デジタル教材【Activity 3】の誌面を画面に映し、He/She の書き方を示す。 ・画面上で、□に動作絵カードを移動させ、児童と一緒に 	デジタル教材 児童用テキスト ワークシート (Unit 5-1, 5-2)

	<p>動作絵カードを置いたりする。誌面にできた文をペアで紹介し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれ聞きたいことを決め、ワークシート (Unit 5-1, 5-2) を使ってインタビューの準備をする。 	<p>に文を言う。児童が慣れてきたら、児童だけで言わせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インタビューに行く準備をするよう言う。 	
<p>インタビューの準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート (Unit 5-1, 5-2 : インタビューシート(1)(2)) を使って行う。 ① インタビューする先生を決める。 ② シート(1)に先生の似顔絵を描き、その下にローマ字で先生の名前を書く。 ③ インタビューシート(1)の例を参考に、その先生ができることを予想し、4線に He / She を書き、□に児童用絵カード (動作) を置いて文を言う。その予想があっているかその先生に尋ねる文を言って、ワークシート(1)の Can you, ? をなぞる。 ④ シート(2)も同様に行う。ペアでワークシートを見せ合い、予想した文、尋ねる文を互いに言い合う。 			
	<p>※次時までには、各自インタビューをして、誌面 p.39 Activity 4 の□に分かったことをメモしておく。</p>	<p>※次時までには、各自インタビューをしておくように伝える。</p>	
5分	<p>○Let's Read and Write</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教材で映し出された英文を音声について読み、例を参考に自分のできること、できないことをワークシートの Hint Box から語句を選んでそれらに○を付け、声に出して言う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教材を視聴し、音声について I can swim. I can't run fast. を読むよう指示する。 ・ワークシートの例文 I can play volleyball. I can't sing well. を一緒に読む。I can, I can't の書き方の例を示す。 ・例をよく見ながら4線上の I can, I can't をなぞり書きし、その後自分の立場でできることできないことを、下の Hint Box から語句を選んで言うよう指示する。ワークシートには、「自分のできること、できないことを書いてみよう。」と記されているが、語句を選んで言う活動にとどめる。ただし、児童の実態に応じて、語句を選んで書き写すことが考えられる。 	<p>デジタル教材 ワークシート (Unit 5-4)</p>
3分	<p>○Sounds and Letters</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワードサーチをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの 32 マスに書かれた小文字の中から、音を考えながらシート右ボックスにある単語を探して印を付けるよう言う。 	<p>ワークシート (Unit 5-8)</p>
2分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動を振り返る。振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。 	<p>振り返りカード</p>

5年 Unit 5—Lesson 7 単元名	She can run fast. He can jump high.	できること	7/8 時間
目 標	ある人物について、できることやできないことを含めて紹介する。		
準 備	教師用カード (動作), 児童用テキスト, ワークシート (Unit 5-1 ~ 5-5), デジタル教材, 振り返りカード		

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ①評価<方法>	準備物
10分	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をする。 【Let's Chant】 Can you sing well? (オプション) p.35 ・チャンツを言う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。 ・デジタル教材を視聴しながら、児童と一緒にチャンツ (He can run fast. She can sing well.) を言う。 ・児童の実態により、スピードやオプションを選ぶ。 	デジタル教材 教師用カード (動作)
<p>(Option) <u>He can run fast. She can sing well.</u> This is my friend, Kosei. He can play basketball. He can run fast. He can jump high and he's so cool. This is my teacher, Ms. Tanaka. She can play the piano. She can sing well. She can cook well and she's so nice. I can't run fast, but I can swim. I can't sing well, but I can dance. How about you? What can you do?</p>			
	<p>○Small Talk : Who is this? Quiz</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者の話を、反応を示したり、質問について考えたり答えたりしながら聞く。それが誰かを考えて答える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童がインタビューに行かなかった先生についてできることできないことをクイズ形式で紹介し、児童の先生紹介の活動につなげるようにする。 ・一方的に話すのではなく、児童を会話に巻き込みながら話すようにする。 ・児童がスピーチする際のヒントになるよう、できることできないことだけでなく、自分はできるかどうかや感想も含めて話すようにする。 ・スピーチの後児童に誰のことかを考えさせ、答えとして This is ○○sensei. で表現する。 	
	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>Small Talk の例</p> <p>'Who is this?' Quiz. He is a nice teacher. He can run very fast. I can run fast. He can cook very well. He can bake cake, too. I like cake very much. His cake is very delicious. He can sing very well. I can't sing well. He is kind. He is my good friend.</p> <p>Who is he?</p> </div>		
		<ul style="list-style-type: none"> ・クイズを複数出した後、クイズに出てきた動作について、児童にできるかどうかを尋ね、次の活動につなげる。 	
15分	<p>【Activity 4】 p.39</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インタビューの結果を整理し、スピーチの準備をする。 ・ワークシート (Unit 5-3) を参考にインタビューした先生のできることやできないことを言う。また、それに対して自分の考えも加えるようにする。 ・ワークシート (Unit 5-5) の□に Hint Box から切り取ったカードや児童用カード (動作) を置いて、スピーチの練習をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでに児童が行ったインタビューの結果をグループで整理し、スピーチの準備をさせる。スピーチでは自分のことや感想も含めて伝えられるようにする。 ・デジタル教材を視聴し、音声について He can cook. He can cook well. She can swim. She can run fast. を読むよう指示する。 	ワークシート (Unit 5-3) 児童用カード (動作) ワークシート (Unit 5-5)

10分	<p>【Activity 5】 p.40</p> <ul style="list-style-type: none"> ・班でペアになり、インタビューをもとにその先生ができることできないことを、自分のことも含めて伝え合う。相手を替えて繰り返す。 ・デジタル教材のスピーチを聞く。また、互いのスピーチについてよかったところや分かりにくかったところなどをアドバイスし合い、ジェスチャーを入れるなどアドバイスに沿って改善をして、次時のスピーチの準備をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアで活動させる。 ・先生にインタビューしたことをもとに、その先生ができることできないことを自分のことも含めてスピーチするため、既習表現についてどんな表現かが使えそうか交流させたり、どんなスピーチがよいか、また悪いか、例を挙げさせて交流させたりしてから始めるようにする。 ・デジタル教材でスピーチの例を聞かせ、発表の参考にさせる。 <p>◎自分やある人物について、できることやできないことを、考えや気持ちも含めて伝えている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>	ワークシート (Unit 5-1 ~ 5-5) デジタル教材 児童用テキスト
5分	<p>【Jingle】 Animals Jingle p.39 (p.77)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアの間に1冊の児童用テキストのp.77を開いて置く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童用テキスト p.77 Animals Jingle チャートを使って、じゃんけんすごろくをするよう告げる。 	デジタル教材 児童用テキスト
3分	<p>【STORY TIME】 ① p.41</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教材を視聴し、話の概要を理解する。指導者の質問に答える。 ・音声の後につけて読む。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>かず：Do you like math? マリア：Yes. I like math very much. Maria can do math very well.</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本の読み聞かせを、デジタル教材を使って、あるいは指導者が読んで行う。 ・単に読むのではなく、内容と関連した質問を児童にすることで、内容の理解を図るようになる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>T: Do you like math? What subject do you like? Can you do math very well? など</p> </div>	デジタル教材 児童用テキスト
2分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動を振り返る。振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。 	振り返りカード

5年 Unit 5—Lesson 8 単元名	She can run fast. He can jump high.	できること	8/8時間
目 標	他者に配慮しながら、ある人物についてできることやできないことを、自分の考えも含めて紹介しようとする。 アルファベットの文字の読み方には、名称のほかに音があることに気付く。		
準 備	児童用テキスト、ワークシート (Unit 5-3, 5-9) , デジタル教材、振り返りカード		

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をする。 【Let's Chant】 Can you sing well? (オプション) p.35 ・チャンツを言う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。 ・デジタル教材を視聴しながら、児童と一緒にチャンツ (He can run fast. She can sing well.) を言う。 ・児童の実態により、スピードやオプションを選ぶ。 	デジタル教材
<p>(Option) <u>He can run fast. She can sing well.</u> This is my friend, Kosei. He can play basketball. He can run fast. He can jump high and he's so cool. This is my teacher, Ms. Tanaka. She can play the piano. She can sing well. She can cook well and she's so nice. I can't run fast, but I can swim. I can't sing well, but I can dance. How about you? What can you do?</p>			
30分	<p>【Activity 5】 p.40</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教材を視聴し、発表の仕方を確認する。 ・インタビューの内容をもとに、ある先生のことを、班ごとあるいは各自で紹介する。聞いている側は、聞き取れた内容をワークシートの空いているところに記入をする。 <p>○Let's Read and Write</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声について読む (発音する)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教材を再度視聴し、発表の仕方を確認させる。 ・聞いている人は、ワークシートの空いているところに分かった内容を聞き取れた部分だけでもよいので記入するよう促す。 ・活動の途中で中間評価をし、良いスピーチについて、具体的に児童と共通理解し、後半のスピーチを行う。 ◎他者に配慮しながら、ある人物について「できること」「できないこと」を、自分の考えも含めて紹介している。〈行動観察・振り返りカード点検〉 ・デジタル教材を視聴し、音声について文を読むよう促す。再度音声を聞きながら、児童用テキスト Activity 5の文を指で追いながら読む。 	デジタル教材 ワークシート (Unit 5-3) デジタル教材 児童用テキスト
5分	<p>【STORY TIME】 ② p.41</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教材を視聴し、音声について読む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教材を視聴し、音声について読ませる。児童と一緒に読む。 	デジタル教材 児童用テキスト
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> かず：Do you like math? マリア：Yes. I like math very much. Maria can do math very well. </div>			
3分	<p>○Sounds and Letters</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Animals Jingle を言ったあと、ジングルを思い出しながら、ワークシート (Unit 5-9) の□に該当する小文字を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・Animals Jingle を言ったあと、ジングルを思い出しながら、ワークシート (Unit 5-9) の□に該当する小文字を書くように言う。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> デジタル教材：「教材どうぐばこ」→「素材種別」→「チャンツ・ソング・ジングル」→「リスト」→「ジングル」→「Animals Jingle」 </div> <p>◎アルファベットの文字の読み方には、名称のほかに音があることに気づき、□に小文字を書いている。 〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p>	デジタル教材 児童用テキスト ワークシート (Unit 5-9)
5分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動及び本単元を振り返る。振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。 	振り返りカード